



日本共産党

くらしに安心 未来に希望 若林信一のお約束

みなさんと一緒に実現します

コロナ危機からくらしを守る

- 学校、就学前施設、福祉施設で働く人への優先的なワクチン接種と定期的なPCR検査の社会的検査の実施
- 生活困難者への市独自支援策
- 小規模事業者への市独自給付制度



くらし・高齢者支援

- 国民健康保険料・介護保険料の軽減
- 中学校校区ごとに地域包括支援センターの設置
- 公共施設循環バスの路線拡充と運賃補助でお出かけ支援
- 公共施設の利用料の軽減



子育て支援・教育充実

- 少人数学級の推進
- 学校給食費の無償化
- 子どもの医療費窓口負担ゼロ
- 保育園の待機児童解消



安心・安全のまちづくり

- 地域の拠点となる公共施設の存続
- 避難所となる学校体育館にエアコン設置
- 市民が憩える公園の整備

これからも粘り強く実現めざします

- ★ 外環状線西浦北信号の歩道橋の舗装
- ★ 西浦地区の開発に伴う地域の交通安全対策と、交通渋滞の解消
- ★ 大乗川の定期的な川底清掃と河川の水害対策
- ★ 古市府営住宅の残り・早期の建て替え
- ★ 近鉄駒ヶ谷駅の駅無人化の解消
- ★ 菅田中学校体育館での投票所の再開



駒ヶ谷駅で訴える若林議員

日本共産党

コロナ対策、
くらし・福祉・
教育最優先に！

市民の命とくらしの守り手！

若林信一

わか ばやし しん いち

悪政
ストップ

市政についてのご意見ご要望、暮らしの相談などお気軽にご相談ください。

住所 西浦1丁目7番6号 電話 072-958-1322 携帯 090-3034-1403



若林信一公式LINE

生活相談地域

● 菅田 ● 碓井 ● 栄町 ● 翠鳥園 ● 軽里3丁目 ● 西浦1・2丁目 ● 西浦番地 ● 白鳥 ● 蔵之内 ● 尺度
● 古市 ● 南古市 ● 水守 ● 東阪田 ● 広瀬 ● 川向 ● 駒ヶ谷 ● 大黒 ● 壺井 ● 通法寺 ● 飛鳥 ● 竜王寺

羽曳野民報

No.2168 2021年7月15日 発行：日本共産党羽曳野市委員会 連絡先：向野3-8-1 TEL 952-6975 FAX 952-6976
日本共産党羽曳野市委員会は上記の見解を発表しましたのでお知らせします。

「福祉はいのち」これが私の政治信条です

住民と議会を結ぶ 若林 信一

貧しい暮らしの中で、母親の内職を手伝いながら「なんで一生懸命働く人が幸せになれへんのか」と疑問に感じる子ども時代を過ごし、「困っている人の役に立つ仕事がしたい」と、社会福祉を学び、西成労働福祉センターに就職しました。

仕事や暮らしが困難な人たちと向き合う中で、一人の努力の限界を痛感し、その頃、日本共産党と出会い「福祉や命を大切に政治を実現したい」と日本共産党に入党しました。

1977年に結婚し羽曳野市へ。共働きをしながら3人の子どもを育て、市議員に。

以来、8期28年間、市民の命と暮らしを守ることをモットーに、市民の切実な願い実現にがんばってきました。



全ての市民が、暮らしに安心、未来に希望が持てるように、引き続き全力つくしてがんばります。

【プロフィール】 1948年大阪府守口市生まれ。府立四条畷高校卒業、府立社会事業短期大学専攻科卒業後、西成労働福祉センターに就職。1989年羽曳野市市議員に初当選。以降、市議8期28年。市議会副議長、議会運営委員会委員長、柏羽藤消防組合議会議長など歴任。元・市保育運動連絡会会長、市学童保育連絡協議会会長。現・羽曳野市文化連盟会長、羽曳野・藤井寺生活と健康を守る会会長。家族は、妻と1男2女と孫6人。趣味は、将棋・映画鑑賞・音楽鑑賞・ウォーキング。

情熱

市民の願いを 何よりも大切に

—毎議会、住民の声を一般質問—

28年間欠かさず毎議会一般質問で、みなさんの声を取り上げ、要望の実現をめざしてきました。

子ども医療費助成が高校卒業まで拡充、小中学校の全教室にエアコン設置など、みなさんと力を合せて要望を実現してきました。



誠実

困っている人の命綱

—すぐ行動、一緒に解決—

議会ごとに報告会を開き、ご意見やご要望をお聞きし、生活相談で寄せられた切実な困りごとなど、すぐ行動し、一緒に解決にがんばってきました。



不屈

32年間、 古市駅で毎週報告

—暑い日も寒い日も—

32年間、毎週早朝、古市駅で市政や国政のことなど、みなさんに報告してきました。

多くのみなさんに励まされながら、暑い日も寒い日も続けることができました。みなさんと運動を進め、古市駅にエスカレーターやエレベーターが実現できた時は、本当にうれしかったです。

気軽に親身に駆けつける、信ちゃん!

若林さんは、国政・府政いなるの羽曳野市政にキッパリと庶民の思いを届ける熱血あふれる議員です。いつでもどこでも、気軽に親身になって駆けつけてくれる、頼りがいのある若林さんは議会になくてはならない人です。

古市6丁目 羽曳野日本共産党後援会会長 田ノ岡 稔

8期28年 試されずみの市民の代表!

若林さんは、市民の原点「暮らし・福祉を良くすること」をモットーに、豊かな経験と実績を持っています。試されずみの市民の代表! 市議会になくてはならない人です。

南古市 元市議会議長 黒川 寿満男

みなさんと一緒に
ねばり強く取り組み実現しました!

日本共産党

若林 信一



府営古市住宅の建て替え始まる



みなさんの声を市議会に届け、実現しました!

- 子ども医療費助成を高校卒業まで拡充
- 小中学校の普通教室にエアコン設置
- 市民健診の無料化と大腸がん検診の同時受診
- 循環バスの停留所増設で、お出かけ支援充実
- コロナ対策で水道料金軽減、小学校給食費が無償に



みなさんと力合わせ、実現してきました!

近鉄本社と毎年懇談



近鉄あべの駅にホーム柵が設置



古市駅にエレベーターが設置

外環状線、軽里南信号の歩道橋が塗装



南古市1丁目の浸水対策と
転落防止柵が設置



碓井府営住宅の歩道の樹木剪定



市役所前の高齢者等
感応押しボタンが改善



石川スポーツ公園のテニス柵が改修



大乗川のトンネルの土砂を撤去



大乗川の川底を清掃

町会役員のみなさんと府に要望し、川底の清掃
とトンネルの土砂も撤去されました。

西浦(昭和園) 高木 長慶

日本共産党 次の総選挙で政権交代実現！

医療・福祉・くらし 最優先の政治を

新型コロナ危機をつうじて、多くのみなさんが、これまでのあり方を見つめ、誰もが健康で安心してらせる政治への転換を求めています。

7月4日の東京都議選で日本共産党は、東京五輪を中止して新型コロナ対策に集中し「命を大切にする政治を」と訴えました。また、総選挙での政権交代の流れをつくろうと、市民と野党の共闘を成功させ日本共産党の議席も野党の議席も前進させることができました。

日本共産党は、次の総選挙で菅自公政権、維新政治に厳しい審判を下し、医療・福祉・くらし最優先の政権実現に力を尽くします。と一緒に希望ある政治を実現しましょう。

日本共産党 だからこそがんばれます！

「#困ったときは共産党に相談しよう」——SNSでこんな投稿が広がりました。

日本共産党は、全国で2700人の地方議員、地域・職場・学園で活動する党支部・党員が、困っていることに親身になって相談にのり、解決のために努力しています。

国会では、国民の世論と運動、他の野党との共闘の力で、1人一律10万円支給、雇用調整助成金の上限額引き上げ、家賃支援の仕組み、PCR検査の拡充、医療機関への財政支援など、一連の対策が実現しています。

「国民の苦難あるところ日本共産党あり」——1922年の党創立以来、震災や豪雨・台風災害など、数々の災害で発揮されてきた私たちの立党の精神が、新型コロナ危機のもとでも発揮されています。

知って
ください。

「日本共産党」ってこんな党



国民の苦難軽減が信条 くらしと命を守りがんばる党

コロナ禍でアンケートや生活支援に奮闘。大規模検査を提唱し、PCR検査の拡大、持続化給付金などを実現してきました。

資本主義を乗り越えた 未来への確かな展望をもった党

ジェンダー平等、貧富の格差、気候変動問題も綱領に明記。資本主義の限界を乗り越えた新しい社会への展望を持つ政党です。

憲法9条を守り、どんな国の 覇権主義も許さない党

アメリカでも中国でも、強権で他国を支配する動きは許しません。中国の人権弾圧も厳しく批判しています。

菅政権とも維新政治とも対決 草の根から政治を動かす党

入管法改正案の採決阻止、大阪市廃止の是非を問う住民投票を再び否決するなど、みなさんの声を集めて政治を動かしています。

コロナ 封じ込め対策の強化を！

「感染の波はやむをえない」と言い訳する菅政権。「いつでも、無料で、どこでも」検査を受けられる「世田谷モデル」は「必要ない」と検査拡大を否定する吉村知事。失われる命への痛みはないのでしょうか。世界128位と立ち遅れたワクチン接種を急ぐことは当然ですが、それだけで感染封じ込めはできません。日本共産党は、コロナ危機からくらしを守る対策を提起しています。

国に
対して

ワクチン接種と検査拡充は同時並行で

- 医師・看護師を確保し安全迅速なワクチン接種
- 医療従事者と高齢者・障害者施設の職員・利用者への定期的な検査

十分な補償で営業・くらしをシッカリ支援

- 持続化給付金・家賃支援給付金の再支給
- 対象者・期間を制限しない休業支援金



生活困窮者・ひとり親家庭・学生への支援強化

生活困窮者への「定額給付金」の支給。学生の学費半額。ためらわずに申請できる生活保護制度

市に
対して

日本共産党 独自対策を繰り返し要望



市長、教育長にPCR検査の拡充などを申し入れる(4月20日)

日本共産党議員団が、3月議会で山入端市長に「PCRの社会的検査を」求めたところ「無症状で感染者と接触歴がない方などに対して一律に検査を行うことは、必ずしも適切な方法とは考えていない」とPCR検査を軽視する答弁でした。

日本共産党羽曳野市議員団と力を合わせて、自公政権、維新を退場させ、国民の暮らし応援の新しい政治実現にがんばります。



小松ひさし
日本共産党 大阪14区
国政対策委員長